

# 世界を 変えることは できるか。

自分が変われば、世界は変わる。  
世界は、私たち一人ひとりの  
心の在り方を映し出す。

「世界」という言葉は、  
ワールド(world)の日本語訳として受け取られているため、  
通常は海の向こうの外国など、さまざまな国々を思い浮かべるでしょう。  
しかし仏教で「世界」は、空間だけではなく、  
「過去・現在・未来」という時間を含めた概念を指します。  
空間軸と時間軸、それらが交錯する無限の広がり「世界」と言うのです。

したがって「世界」とは、私たち一人ひとりに、個別のものであるとも言えます。  
みんなが同じ世界を共有しているつもりでも、  
それぞれ住んでいる空間も、過去や未来も異なります。  
私たち一人ひとり、実はそれぞれ別の世界に、それぞれに生きているのです。  
百人いれば、そこには百の世界が存在するのです。

そんな中で私たちは、しかし多くの他者と無縁ではられません。  
別の世界に生きる別の人と関わり、  
交わり合いながら生きていかなければならないのです。  
ところが今なお「私たちの世界」では、国と国、  
民族と民族、文化や宗教などの価値観の対立から、争いが絶えません。  
それは世界と世界とが理解し合うことなく、排除を繰り返す状況であると言えます。

こんな愚かしくも悲しい事態を創出しているのは、実は私たち自身であるのです。  
大切なことは、世界に耳を傾け、世界の声を聴くこと。  
それは異なる他者の世界に気づき、確かめ、寄りそう知性を磨きます。

私の世界に閉じこもることなく、他者の世界を覗いてみましょう。  
触れれば、私の世界も変わるでしょう。世界を学び、自分を学び、世界を変える。  
そんな出会いを、経験してみませんか。